

●とびっくす●

「とくしま協働の森づくり事業」パートナーシップ協定の締結

広報渉外委員長 笠井 義文

1月27日、佐藤会長とともに「とくしま協働の森づくり事業」のパートナーシップ協定の締結式に出席してきました。この事業は、徳島県と(社)とくしま森とみどりの会、(社)徳島県林業公社が主催するもので、平成22年度にパートナーシップ協定を締結したのは16企業団体。(社)徳島県建築士会もそのうちの1団体として、協定を結びました(締結式の写真)。



調印式の様子

徳島県は、県土面積の75%を森林が占める全国でも有数の森林県です。またその森林の約6割をスギ、ヒノキなどの人工林が占めており、多くの樹木がいま伐採期をむかえています。しかしながら、山村の過疎化や高齢化の進行、長引く木材価格の低迷などにより、その手入れが行き届かなくなっているのが現状で、森林崩壊、土砂災害の危険性も高まってきています。

森林はたくさんの役割を担っています。例えば、二酸化炭素の吸収、水源の涵養、木材や山菜の供給、土砂崩壊や洪水の防止、ヒートアイランドの緩和などの物理的な恩恵。それに加えて、動植物の貴重な生息地であり、人々の癒しやレクリエーションの場としても貴重な存在です。すなわち、この森林を守ることは、我々の生活を守ること、将来の子供達の環境を守ることでもあります。

とくしま協働の森事業は、主催者と事業者とのパートナーシップによって、このような大切なとくしまの森を保全していこうという取り組みです。具体的には事業者からの寄付金で、手入れの遅れた森林の間伐や植林を行い、本来の森の機能を取り戻します。またそれとともに、森づくり体験や子供達への環境教育も実施されます。

今年度の(社)徳島県建築士会の協定対象森林は、右図に示すように佐那河内村の2.15haの私有林です。そこでは我々からの寄付金によって、ヒノキ材の間伐が行われます。

我々地域で生きる建築士は、地場の豊富な資源である山林の素材を積極的に活用することによって、森林の保全に寄与することができる立場にあります。また、一企業人として、「CO₂自社排出削減」を推進することも可能です。「徳島県地球温暖化対策推進条例」が施行され、これらを支援する体制もできました。

木材は唯一といってもよい再生産可能な建築資源です。時代は大量生産大量消費から、既存資源の再生再利用へと大きく転換してきています。建築建設に携わる我々は直接その責任を負っています。環境問題の視点から、建築資材としての地元産木材を再考する必要があるのではないのでしょうか。

一方、木材の普及活用は経済面においても重要な意味を持ちます。木材は川上から川下まで多くの人の手によって運ばれ、各々の場で雇用を生みだします。また木材を扱う業界はすそ野が広く、関連する人々も多種多様です。循環する資源である木材はすなわち、循環する経済社会構造も構築し、多くの人を潤すことになります。

最近の報道によると、外国資本が日本の山林を投機目的で買収しているといわれています。国土を守るという観点からもこれは大きな問題です。しかしこの状況は、森林経営者の悲痛で深刻な実情を物語っているとも言えます。その人たちを助けること、その人たちと共に森林を守ることが、我々に今課せられた重大な責務であると思われま

【社団法人徳島県建築士会】協定対象森林の概要

所在地	所有	樹種	面積	森づくり内容
佐那河内村下	私有林	ヒノキ	2.15ha	間伐

位置図

整備箇所図

森林の現状

計画地近景

建築士会の協定対象森林

徳島支部スキーツアー in Hachikita

徳島支部 高田 哲生

恒例の徳島支部スキーツアーのご報告です。2月5, 6日に1泊2日でハチ北スキー場へ行ってきました。家族の皆さんや徳島在住のカナダ人、イーブ・ラクロワさんを含めて14人の参加でした。年明け早々首を痛め、1月中は自宅で寝たり起きたりの生活を強いられていた私でしたが、5年ぶりのスキーツアーで楽しみにしていたこともあり少し無理しての参加でした。参加人数が少なかったこともありマイクロバスに変更してのぎゅうぎゅう詰めツアーとなりましたが、車中ではお酒も入り和気藹々です。私は首に負担をかけないようにと特別に横にならしていただきました。その分、隣席の真鍋氏には窮屈な思いをさせ申し訳ないことでした。

深夜12時頃に徳島を出発、早朝の5時頃にはスキー場へ到着。しばらく車内で仮眠をとったあとリフトが動き出すのを待ちかねて我先にと滑りに。みなさん夕方4時頃にホテルに戻ってくるまでみっちり滑りを楽しんだようです。杉本、高尾家は家族で仲良く（子供たちが上手になっているのにはびっくりです）。また、未婚者4人組み（真鍋、ラクロワ、坂東、中村）は山頂の怖いところも滑ったらしく、中村君の顔が引きつっていたとのラクロワからの情報があったり。一方、私はといいますと記念写真撮影のため、とりあえずリフトで上がったものの5年ぶりの華やかなゲレンデの風景を満喫するのみ。昼前にはホテルへ戻り、ゆっくりと温泉につかりすっかり湯治旅気分でした。



▲ 全員ゲレンデに集合！

夕食はみんなですき焼きを堪能。今回は、残念ながら中四国の士会の皆さんと合同でなかったため、カニ食べ放題の企画はありませんでした。また来年のおたのしみということで。翌日、午前中は引き続きスキーを楽しんだあと、みんなでハチ北温泉でゆっくりと身体をあっためてから帰路につきました。今年の雪の量はかなり多かったようで、付近の家屋の屋根には1メートルほども積雪が見られました。スキー客をよそ目に家族総出で雪下ろしをしているのを見て雪国の生活は大変だなーと試してみたり。

個人的には湯治ツアーのようになってしまい残念なところもありましたが、来年は体調を整え思いっきり滑りたいと思っています。多数のみなさまのご参加、心よりお待ちしております。



▲ ファミリーな高尾さん



▲ ダンディなラクロワ社長



▲ チョンガーな真鍋部長

業務用電化施設見学会

徳島支部 岩本 祥一

2月2日（水）、四国電力㈱徳島支店営業部法人電化推進課による業務用電化施設見学会に参加してきました。総勢25名（うち四国電力より4名）バスでの行動となりました。

スケジュールは下記のようになります。

午前8：20 徳島電気ビル発
午前10：15 宇多津学校給食センター見学（45分）
午前11：20 中津万象園にて食事・見学（100分）
午後13：30 坂出發電所（90分）
午後15：10 坂出LNG株式会社（50分）
午後18：00 徳島電気ビル着

まず、初めに今回のメインである2007年4月に竣工した香川県宇多津町学校給食センターを見学しました。

本施設は、材料の調達から配送までを含めたPFI事業として全国初の給食施設で、空調や給湯、厨房も含めてすべての電源が電気のオール電化施設です。施設規模として、鉄骨平屋建て延床面積約1580㎡で、1日の調理能力が最大で2300食。通常は2100食の供給能力があるそうです。

僕が小学生だったころは給食室で「給食のおばちゃん」と呼ばれる方が割烹着を着て給食を作ってくれていました。それと比べると今回の給食センターは、衛生上、効率上はとても魅力的に感じましたが、休み時間に給食室を覗きに行って「給食のおばちゃん」の働く姿を見ることなく給食を食べるのかと思うと、ちょっと残念な気もしてしまいました。



▲電化厨房施設の説明

その後、中津万象園にて昼食及び見学をはさみ、四国電力の坂出發電所と坂出LNG株式会社を見学しました。

まず、坂出發電所では、発電所についての説明を受けた後、広大な敷地内をバスで巡り、その後タービン・発電機の見学を行いました。また、参加者一同こどものように歓声をあげてしまうほどの、映画やテレビでしかみないような中央監視室の見学もできました。



▲坂出發電所内の見学

その後、少し離れた場所にある坂出LNG基地を見学しました。ここでは、動画・パネルでの説明の後、瀬戸大橋やLNG基地の全体がよく見える建物の屋上に上り、説明を受けました。



▲坂出LNG株式会社屋上にて記念撮影

最後になりましたが、今回の見学会に同行していただいた四国電力㈱徳島支店営業部法人電化推進課の皆様、1日大変お世話になりました。

4度目にして・・・

川島支部 井内 末起

皆さんこんにちは、川島支部青年部長の井内です。

今回は毎年川島支部で行われている釣り大会についてレポートしたいと思います。

自分が川島支部に入会して4回目の参加となるこの大会、愛媛県日振島という所で行われました。毎回各支部からの釣り名人の参加もあり大変楽しい大会となっております。

日振島とは宇和島から渡船で約1時間釣り具メーカーの大会がよく行われる全国的にも魚影の濃い有名な所です。がしかし・・・・・・・

私の過去3回の戦績は、第1回目初めての参加で期待に胸ふくらませ「クーラーに入りきらんだらどうしよう」などと心配しながら磯上がりし釣果…0匹、「今回は潮が悪かったなー」と釣り師得意の言い訳で自分を慰めながら帰りました。

翌年、「去年は潮と、くじ運が悪かったけん釣れなんだけど今年はよーけ釣るけん。」と周りに宣言してくじ引きすると最悪のくじ運、でもあきらめません。磯に上がって竿を出すまでは、自然相手ですので何があるかわかりません。と努力もむなしく釣果0匹、「今年も潮とくじに恵まれなんだなー」と話ししながら、帰りました。

さて去年3回目三度目の正直となるか、2度あることは3度あるになるか、リベンジに燃えくじを引くとまたまた最悪のくじ運、ここまで来ると笑うしかありませんご想像の通り釣果0匹・・・鉄板です。

本題の今年、そんな過去を見たO植さんから「今年は私と一緒に上がりませんか。絶対釣らしてあげますから。」日振島を知り尽くした方からの温かいお誘い、どこに断る理由があるでしょう、二つ返事で「はい喜んで。」

どこかできいたフレーズで快諾。まちあわせの石鎚PAでくじを引くと何と3番、井内末起40歳厄年今年は違うぞ！。

渡船に乗り込み磯上がり、何度来ても朝日を望みながらの凜とした空気、自然の中で他のことを考えず釣りに集中できる時間、なんて幸せなんでしょう。くじ運もいいし最近その磯で爆釣したO植さんと釣りを始めること1時間O植さん早くもHIT T上がってきたのは40センチを超える通称サンノジでした。

それから間もなく本命魚グレをつりあげていました。さすが！横で見ているだけの私にはただただ時間が過ぎるだけ、終了1時間前にやっと1匹40センチオーバーを釣り上げることができました。釣行前のT浜さんから色々仕掛けについて教えてもらったおかげでした。

釣果はさておき釣行に参加された皆様との親睦も深まり他支部の方との交流もでき非常に有意義で事故もなく楽しい釣行となりました。ありがとうございました。



お菓子の家を作ろう！ in 阿南のご報告

2月13日、建築士会が主催、女性部が主管している「お菓子の家を作ろう！」のイベントを、阿南市で阿南・那賀支部と共催で行いました。

本事業も昨年度から回数を重ね、スタッフも準備には手馴れてきました。しかし、1月の定例会では「建築士会が開催するイベントとして中身を充実させ、かつクレームが出ない最低限のスタッフで運営している」、「補助があるため参加費を500円に出来ているが、材料費だけで1000円以上かかっており、今後の運営の課題である」という意見も聞かれました。

では、実際に参加した子どもたちはどんな風な感想を持ったのか、先日アンケート結果を掲載したいと思います。

【アンケート結果】

回答者15組

イベント参加者：お菓子の家づくりをした子ども28人
保護者19人（全家族からの回答を得られた）

1 このイベントをお知りになったきっかけは？

新聞（1）・チラシ（5）（事務所の張り紙を見てという人も）・知人の紹介（4）・建築士会の広報誌（0）・たまたま通りかかった（0）・その他（4）（あな広報3、テレビで見て1）

2 「家ができるまで」が、分かりましたか？

よく分かった（8）・なんとなく分かった（7）・あまり分らなかった（0）

3 「お菓子の家」を楽しくつくれましたか？

とても楽しかった（14）・まあまあ楽しかった（1）
楽しくなかった（0）

4 材料で、ほしいものがあれば、かいてください。

板チョコ（3）・グミ（2）・マシュマロ（2）・カステラ（2）
スポンジ・パン・ラムネ・ポテチ

チョコボール・アポロ（1）・ハイチュウ・ぷっちょ・じゃがりこ・食べられる緑（草）

5 そのほか、思ったことがあれば、かいてください。

- ・親子で楽しめました。ありがとうございました。
- ・アポロやゼリービーンズなどの人気があるお菓子はもうちょっとある方がいい。
- ・ウエハースやクラッカーをたくさん家の中に入れました。とても楽しかったです。
- ・ウエハースは立てて使うと、後でクリームがとれて二つに分かれてしまうことが分かった。
- ・お家でお菓子を作って子ども達とお菓子の家を作るなんてとても出来ないのが今回、親子で楽しく作ることができました。ありがとうございました。
- ・壁をたてるのが難しかった。
- ・壁はやはりウエハースですと強度があつていいと

思いました。基礎は大事だなあと感じました。

- ・小さい子どもも楽しめたと思います。
- ・飾りになるアポロがもう少し多くあるといいかなあー。とてもいい体験できました！
- ・また作りたいです。 ・また来たいです。
- ・時間が決まっていたので最初から勢いよく出来ました。

6 参加された方（※アンケート回答より）

年齢：4歳（2）5歳（3）6歳（5）7歳（1）8歳（5）
9歳（3）10歳（1）11歳（4）

性別：女（11）・男（9）

● 参加費について、いくらくらいまでの参加費を払っても参加する価値があると思われますか？（自由記述）

500円（5）・800円（3）・800～1000円（1）
1000円（1）・1500～2000円（1）・無回答（3）

運営側と参加者側でもものの感じ方は違うこともあると思いますが、概ねよい評価をいただけていると思います。今後の課題もあるとは思いますが、みんなで頑張っていきましょう！

スタッフとして参加してくださる方も絶賛募集中です！！



女性部からのお知らせ

■定例会のご案内

3月26日（土）15:00-17:00 士会会議室

※先月号で時間が未定となっております。

●士会だよりー本部●

葺きシンポジウム及びへんろ小屋オープニングイベント

シンポジウム「とくしまの茅葺き技法」

<基調講演>

演題「茅葺きにおける地方色と徳島」

講師 日塔 和彦氏 (東京藝術大学客員教授)

<調査・事例報告>

◆徳島県の茅葺き文化財(建造物)と茅葺き材料

◆徳島県内の茅葺き民家の現状

◆茅葺きへんろ小屋プロジェクト(茅刈り・茅葺き実習)報告

報告者: 田村栄二氏・中野真弘氏

(とくしま文化財マイスター連絡協議会)

◇感謝状贈呈 つるぎ町貞光の茅葺き棟梁

神山茅葺き研究グループ

平成23年3月6日(日)13:30(開演)～16:30

徳島県建設センター 6階大会議室

〒770-0931 徳島市富田浜2丁目10

TEL: 088-622-3112

「茅葺きへんろ小屋」オープニングイベント

■日 時 平成23年3月12日(土)12:00～15:30

■場 所 勝浦町生名 茅葺き遍路小屋

(雨天の場合は勝浦町生名コミュニティーセンター)

■内 容 「祝い三番艘」人形浄瑠璃 出演: 勝浦座

参加者へのお接待(お茶・お菓子他)

史跡の説明を聞きながらお遍路道を歩くミニウォーク

※当日受付は現地で11:30から(定員20名)

(案内人: 県教委教育文化政策課 早淵隆人氏)

■主 催 とくしま文化財マイスター連絡協議会

HP: <http://tokubunmeister.web.fc2.com/>

<参加申込み・お問合せ>

とくしま文化財マイスター連絡協議会

TEL: 088-665-6805 (担当: 中野)

E-mail: tokubun_meister@yahoo.co.jp

●士会だよりー本部●

平成22年度徳島県建築大工技能者表彰者

あっぱれ棟梁コンクールの表彰者が決まり、2月28日に知事から表彰されました。授賞式は次の方々です。

美馬 治美 阿波市阿波町

○木内 繁一 海部郡牟岐町

○笠井 勅 板野郡藍住町

建築士会本部行事案内 平成23年

3月		4月	
1日	一日会 (士会会議室)	1日	一日会 (士会会議室)
3日	試験業務連絡会議 (東京)	5日	委託業務審査委員会 (〃)
9日	建築相談 (士会会議室)	4～8日	定期講習会受付 (〃)
10日	検査員・特定取次店講習会 (〃)	7日	総務委員会 (〃)
16日	建築相談 (〃)	11～15日	二級・木造建築士試験受付 (〃)
16日	セビア (〃)	21日	事業委員会 (〃)
18日	住宅保証機構研修会 (東京)	28日	常任理事会・理事会 (建設センター 6F)
18日	まち研 (士会会議室)		
19日	建築見学会 (佐那河内小中学校)		
21日	講演会・地域実践活動発表会 (あわぎんホール5F)		
23日	まちかど編集会議 (士会会議室)		
26日	女性部会 (〃)		

植松 忠彦 美馬市穴吹町

(○印の方は士会会員です。)

●士会だよりー本部●

「徳島県あんしん・耐震コンクール」の表彰者が決まり、3月1日に表彰されました。知事表彰をされたのは本会の美馬支部のみです。

知事表彰 徳島県建築士会美馬支部

(将来住みたい家の絵画展の実績により)

●士会だよりー本部●

平成23年度建築士試験日程

一級建築士

■申込書配布 4月25日(月)～5月13日(金)

■申込受付 5月9日(月)～5月13日(金)

■学科試験 7月24日(日)

■設計製図試験 10月9日(日)

二級建築士

■申込書配布 4月4日(月)～4月15日(金)

■申込受付 4月11日(月)～4月15日(金)

■学科試験 7月3日(日)

■設計製図試験 9月11日(日)

木造建築士

■申込書配布 4月4日(月)～4月15日(金)

■申込受付 4月11日(月)～4月15日(金)

■学科試験 7月24日(日)

■設計製図試験 10月9日(日)

●士会だよりー本部●

役員の皆様への本年度旅費の支給について下記のとおり役員会出席者に旅費を支給します。

・期 間 総会後～H23.3.31開催役員会

・申請用紙は士会HPに掲載

・提出〆切 H23.3.15(自己申請とします。)

編集後記

◆源太郎の京都土産はお神籤入り煎餅。だが、私は先週から歯が痛い。ようやく噛み砕いて取り出したお神籤は大吉・いい日だった・・・かな? (ノーリツ号)

◆マスク美人と言われた件。 (ゲゲゲの源太郎)

◆大吉。 (ぺぺい)

◆末大吉でした。おいしかったです。幸せ (ハリー)

◆とんずらしました (酎西)

◆中吉。ふつう。 (ひとはたうさぎ)